

1月15日（水） 朝礼のお話し

合気道で一番強い技は？

今日は「合気道」と言う武道のお話しをしようと思います。合気道って知っていますか？合気道は柔道や剣道のように日本で生まれた武道です。ほかの武道との違いは相手を倒すことが大切なのではなく、自分を襲ってくる相手の力を利用して、相手を傷つけずに動けなくしてしまうことが大切だということです。だからほかの武道のように試合で勝ち負けを競うこともないそうです。相手を傷つけずに押さえつけることを目的にしているので、日本では護身術と言って自分の身を守るためや警察官が身につける技として有名で、警察官になる人は必ず練習するのだそうですよ。確かに警察の役目は相手をやっつけてしまうのではなく、悪い人でもケガをさせずに取り押さえることですから合気道はぴったりですね。

この合気道の達人に塩田剛三さんと言う方がいらっしゃいました。この塩田さん、とても小柄な人で身長154cm、体重が46kgと大きめの小学生くらいの人だったそうです。こんな小さな人でしたが、まさに合気道の達人、神様と呼ばれるくらいすごい人でした。校長先生、何度かこの人が合気道の技を使うのを映像で見たことがあるのですが、ただただびっくりするばかりでした。相手がどんな大男でも、武道を何年も修行している人でも塩田さんの体に触れた途端に地面に押しつけられて動けなくなってしまう。もっとすごいのは相手が一人ではなく、5人も6人も同時に襲いかかってきてもみんな一瞬ではいつくばらせてしまうのです。テレビや映画のヒーローが敵をバタバタと倒す場面をみるがありますが、あれをお芝居ではなく、本当にやってしまうのですからすごい人でした。

でも塩田さん、ただ強いだけの人ではありませんでした。こんなお話しがあります。ある人が塩田さんに「合気道の技で一番強いのはどんな技ですか？」と質問したそうです。そうしたら、塩田さんはこう答えました。「合気道で一番強い技は自分を殺そうと襲ってきた相手と仲良くなってしまうことさ」と答えました。意味がわかりますか？そうですね、どんな強い相手でも、どんなに自分を憎んでいる相手でも仲良くなってしまうえばもう安心。自分を襲ってくることはありませんね。相手を傷つけずに自分の身を守ることを目的にしている合気道では相手と仲良くなってしまうことは確かに一番強い技なのかもしれません。

私たちは塩田さんのように合気道の達人にはなかなかなれるものではありません。でも塩田さんの言葉のようにどんな人とでも仲良くなれたらこんなに安心なことはありませんね。そしてこれは人と人との付き合いだけではなく、国と国との付き合いでも同じことかもしれません。隣の国が自分の国を攻めてくるかもしれない、だから武器をたくさん準備しよう、先に攻め込んでやっつけてしまおうなんて考えるよりも隣の国と仲良くしてしまえばこんなに安心なことではないのですけどね。世界中の国の人たちがそう考えてくれたらつまらない戦争がおきることなくなると校長先生は思います。

今日は合気道の達人、塩田剛三さんの言葉についてお話しをしました。今日も最後まで一生懸命聴いてくれてありがとう。お話しを終わります。